

授業科目名	身体構造機能論特講演習		授業形態	講義・演習	授業科目区分	応用科目 (ボクテツ生命科学)
担当教員名	宮本 直和・與谷 謙吾				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	身体構造機能論特講の講義を踏まえ、修士課程に相応しいレベルでの知識習得、データ取得・解析、プレゼンテーション、文章執筆（レポート・論文）等の技術習得を目指す。					
成績評価の方法	出席状況（40%） 授業への取り組み状況（30%） プレゼンテーション等の発表状況（30%）を総合的に評価する。					
成績評価の基準	担当する発表の内容や質疑応答状況、課題等の提出により点数を加算して総合評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	（参考書） ・「筋の科学事典 構造・機能・運動」（福永哲夫 編集、朝倉書店） ・「計測法入門 計り方、計る意味」（内山靖、小林武、間瀬教史 編集、協同医書出版社） ・「これから論文を書く若者のために 大改訂増補版」（酒井聡樹 著、共立出版）					
履修条件・ 関連科目	身体構造機能論特講と合わせて受講する方が望ましい。		備考(教員メッ セージ含む)	上記の参考書は特に購入する必要はないが、神経・筋生理学や筋メカニクス分野での博士課程進学を予定している者は、一読しておいた方が望ましい。		
オフィス・アワー	宮本：昼休み。その他の時間についてはメールにてアボ取りをすることが望ましい。406研究室 與谷：随時 306研究室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	宮本 直和	オリエンテーション				
2	"	筋形状と筋力の関係に関するレビュー・プレゼンテーション				
3	"	筋収縮・力発揮のメカニズムに関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
4	"	筋収縮・力発揮のメカニズムに関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
5	"	腱の構造と機能に関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
6	"	骨格筋の可塑性に関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
7	"	骨格筋の可塑性に関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
8	"	筋腱複合体と身体運動に関する英語論文抄読・プレゼンテーション				
9	與谷 謙吾	実験テーマの立案 - プレゼンテーション -				
10	"	実験テーマの立案 - プレゼンテーション -				
11	"	実験テーマの立案 - プレゼンテーション -				
12	"	予備実験と実験デザインの再考 - ディスカッション -				
13	"	予備実験と実験デザインの再考 - ディスカッション -				
14	"	予備実験と実験デザインの再考 - ディスカッション -				
15	"	レポート・論文作成技法				